

以上で二日目予定は終了です。今日は民宿の坂口屋へ到着し、本日の疲れを取る為早く入浴しました。それから夕食を頂き床に入ります。十四日最終日。元氣を出して七時前に朝食を頂き、七時半頃宿舎を後にしました。二十一番札所の大龍寺参拝ですが、バスを降りてからロープウェイでの空中散歩、標高六〇二米。四国霊場のなかでも有名な難所として知られていたが、今ではロープウェイで楽に参拝する事が出来ます。境内には最古の仁王像大師が唐から持ち帰った宝物を納めた多宝塔、堂々とした本堂が建ち並ぶ雄大なお寺でした。それから平等寺、葉王寺を巡拝して昼食を頂いて、最後の立江寺十九番札所に参拝、十三時過ぎでした。何一つトラブルも無く、皆さんと共に無事巡拝出来た事はお大師様のお蔭と思えます。一人一人が世のために自分を大きく生かしたい、この願いこそ私たちが生きてきた理由です。この身体は借物ではありません。自分の為にこの一生があるのではなく、人の為に立てるためにこの身体がある。この身体が健康に動く限り、最後の瞬間まで仏様に代って働く、その誓いが私たちを仏様やお大師様に近付けてくれるのです。私余生ある限り亡妻の供養。私自身の健康に留意して次回の巡拝を楽しみに日々を送ります。

最後にになりましたが、お世話下さいました皆々に心より厚くお礼を申し上げます。合掌

拝して手を合わせ、拝み終るといつこりと微笑む顔、それを見る私は嬉しかった。一の橋から杉の大木並木の道を歩き、供養塔や大きな墓石を両側に見ながら、弘法大師様が入場された奥の院に着きました。長い路程でしたが親子共、疲れもせず礼拝しました。四人が満足し、合わす顔が今でも思い出されます。又残雪もあり忘れぬ事の出来ない楽しいお参りでした。

三回目が平成三年三月十五日、十六日朝日寺団参でした。そして今回が四回目です。何時もと違った企画で初日が奈良のお寺巡りでした。六〇七年建立した法隆寺（六七〇年に全焼再建）そしてお水取で有名な二月堂。次は大佛様を祭つてある東大寺から興福寺へと参拝しました。飛鳥時代・奈良時代の建物で皆国宝級のものはかりです。三十年程前にお参りした時は興福寺の五重の塔が猿沢の池の水面上に全層が写っていました。今は周囲の木々が大きくなり、池の堤からは上の二層しか見えなくなりました。五重の塔をバックに鹿を入れて記念の写真を撮りました。奈良駅前ホテルで疲れを取り、二日は念願の高野山参り。紀の川が流れる町橋本市を通り抜けつづら折りの坂道を有名ドライバーの運転するバスは登り、高野山奥の院近くの駐車場に着きました。便利が良くなり、歩く距離も短くて疲れも知らずに奥の院に参る事が出来ました。朝日寺大興様の先達で手を合わせ、ご先祖様の供養と色々とお願いをする般若心経の読経が静かな森にこだましていました。

掛軸及納経帳に筆書してもらう人々、私は一枚の色紙に納経の印を記して載せました。昼食をすませ土産物を求めてバスは午後一時三十分帰路に付きました。山陽自動車道の全線開通で時間も短縮されて六時間で帰りました。企画をされた住職様、そして総代の皆様には大変お世話になりました。そして旅は道連れと申します。崇敬心の高い方々に出合えて良い思い出のご参拝が出来ました。厚く御礼申し上げます。終りになりましたが皆様方のご健康をお祈りいたします。南無大師遍照金剛 合掌

四回日の 高野山参拝

大土井 田中義臣

新年明けましておめでとうございませう。一年に二つ年を取った覚えもないのに今年古希の祝年を迎えたいに乗った様に思われます。しかし、其の替りに神参り祖先を敬い祭る心が生まれて来ました。私も心掛けた訳でもないのに此の歳になれば変わるものと私なりに思います。そして充実した日々を送れる事に感謝せずにはおられません。

さて、最初のお参りは農機具メーカーさんの招待でした。二回目は子供に崇敬心の教養と思ひ親子四人で参拝したのが昭和四十九年四月一日、長女高一、長男中二の年でした。大阪を宿に電車とケーブルカーで八一年空海が開山した高野山に着きました。大門を潜り私茅堂、そして真言宗総本山高野山金剛峯寺へ参

美作の有名諸寺院 巡りに参加して

尻海 福井昭二

平成十一年五月十四日、庄田山朝日寺が主催とし、今年年中行事として定着している恒例の、有名諸寺院巡りと、今年美作地区の旅路とあつて津山鶴山公園散策の旅となりました。

一行は総勢百十数名、三台のバスに分乗して、行く春を惜しむかの様に鳴き交わす鶯の声を聞きながら新緑の迫る山陽自動車道、岡山自動車道を乗り次いで快適な旅となりました。

私は肺気腫と言う厄介な病気を背負い病気の進行具合から判断して現在の儘では余命幾許もないと感ずる迄になつておりました。しかし出会いとか、因縁とは異なるものでありまして、当時岡大医学部付属病院に於いて新しい技術に依る肺気腫の胸開手術が行われ成功例が発表されるに至り、私の主治医の紹介で此の手術に出会えるチャンスに巡り会えたのであります。勿論手術は成功致しまして消えかけていた命の灯を繋いで頂いた様な次第で、私は此の数奇な運命から救われた事はお仏様にさしあげて頂いた慈悲に依るものと悟り、歳と共に衰えて行く体ではあります。出来れば限りの信仰は重ねて行きたいと念じ、この度の行事にも参加させて頂いた様な次第であります。手記が私事にそれて申し訳ありません。

さて、本題の有名諸寺院巡りの手記の前に皆様方ご承知の事だろと思ひます。平成十一年七月五日、西大寺市民会館に於いて開催されました、平成十一年度高野山真言宗、参予備前連絡会総会並びに壇信徒協議会備前支部大会と、本年度は特に備前支部が開催当番とて、中国地区特別伝導協議、参予、壇信徒大会が併せて盛大に執り行われまして「生かせいのち」「合掌の心・これ仏なり」のテーマのもと、厳かに大師様への報恩感謝を捧げる行事が執り行われました。このイベントの中で特に西国二十九番、松尾寺住職、松尾心空僧正のご法話は私の心ならずも聴講者総ての人が感動を覚えたものと思ひます。内容の一部を纏めて私なりに受け止めた事を表現して見ますと、「禅に、「一期一会」と言う言葉が有りませう。今日と明日、今と言う時は生涯にたった一度しかない」としてそのまま過去のものとなつて仕舞うと言う事で、当然ありませぬの事を大切に生きなければならぬ。この時を大切に生きなければならぬ。皆さんの言う意味が含まれております。皆さん

ご承知の様に「日々是好日」こんな言葉もありませぬ。此の世に人として生を受けましたからには、毎日毎日を愉快に楽しく自分なりに満足出来る日を送れる様に心掛ける事です。その為に、常には有り難い、と思う気持ちを大切に、常にこれを感謝の気持ちに繋げて行くと言う心が、是即ち合掌の心ではなからうかと、この様なお話であつた様に理解しております。

合掌の心仏と教えられ 「一期一会」を心せる七十路

手記を美作の旅へ戻しまして、バスは快調に走つて、さ緑の萌える中を抜けて着いた処は、最初にお参りの寺院、木山寺、門前には水蓮に埋もれた池があり、阜月ともなれば見事な水蓮の花に埋もれる事だろと、其の風情を頭の中に描きながらゆつくりと石段を登つて山門をくぐつた。

しかし登山の途中参道が工事中であつた為、後続のバスが予定以上に遅れ揃つての参拝に時間を要しましたが無事に参拝もすませ、お接待のお茶を頂いて喉を潤し、手次れの行き届いたお庭やら寺院周辺を囲む素晴らしい環境と荘厳なたたずまいに深い感動を覚えながらもこの様な人家の少ない地区に、こんな立派なお寺が建立されている事に驚きを覚えると同時に全身を包み込む様な風情に心が洗われる想ひのする寺院でありました。

再びバスの人となり時間の都合で予定を変更して誕生寺へのお参りとなつた。此のお寺は浄土宗の開祖法然上人の生誕の地、この誕生寺拝観で不思議に思つた事は江戸時代に、恋に狂つて放火した八百屋お七が生前着ていたと言われ、と言うことでありませぬ。何故江戸から七〇〇kmも離れた岡山県にこの様な八百屋お七にまつたる遺品が在るのだろうか。ふるりの歴史散策の書によりませぬ、八百屋お七が放火の罪で処刑された後、元禄十二年美作の国、誕生寺十五代住職、道興上人が、たまたま江戸深川の回向院に誕生寺ご本尊の御出陣に出向いた時、この話を聞いたお七の両親がお七の位牌と振り袖を持って上人を訪ね、法然上人生誕の地、誕生寺でお七の供養をして下さる様頼み、道興上人はこれを快諾して持ち帰つたのが誕生寺に保存されているお七の振り袖だそうでありませぬ。

誕生寺に次いで一行は、道路工事に依るトラブルの為忙しい旅となつて仕舞い遅い昼食の後、津山の名所鶴山公園の散策となつた。私は鶴山公園と言えは津山の桜の名所としか考えていなかったが、この度、美作路のお寺参りの手記を書くに当たつて色々調べた処、改めて私の認識不足である事を反省致しました。先ず津山のお城が石垣だけになつて居るのだから。其の昔津山は文化の町として栄えた城下町であつた。津山ご城下の案内にも記されておりました。津山の昔、織田信長の小姓を務め本能寺の変で散つた森欄丸の弟に当たる、森忠正公が慶長八年より十三年間をかけて築城した名城であると同時に、忠正公は儒学を重んじ信仰に厚い城主であつた為、神社仏閣の建立を奨励し、又北へは出雲街道を通じての交易に努め、津山は海の無い国、山の中の交易は川を利用しなければと吉井川の大改修を行い高瀬舟を通行させて歴史に残る城下町の繁栄を成し遂げた名君でありました。

朝日寺墓苑

菩提寺を真近に望む高台に造成された墓園も、残りの区画がわずかとなりました。一区画は三m×二・五m(七・五平米)金額は六十万円です。必要なお方は、お早く申し込み下さい。

最後にこの度の企画に、ご尽力頂きました朝日寺ご住職様を始め総代長様には大変なお世話に成りまして誠に有り難う御座いました。尚日頃では、なかなかお会いする事の出来ない方々にお会いする事も出来、又全く面識のない方々の方々のふれあいと言つた面からも有意義な楽しい旅で御座りました。紙上をお借り致しまして厚く御礼申し上げます。合掌

役員名簿

最後にこの度の企画に、ご尽力頂きました朝日寺ご住職様を始め総代長様には大変なお世話に成りまして誠に有り難う御座いました。尚日頃では、なかなかお会いする事の出来ない方々にお会いする事も出来、又全く面識のない方々の方々のふれあいと言つた面からも有意義な楽しい旅で御座りました。紙上をお借り致しまして厚く御礼申し上げます。合掌

尾張	前泊	問口	下寺	高助	渡内	庄田	大土井	西市	中東	大東	敷井
張泊	泊口	口	寺	助	内	田	井	市	東	東	井
安達米子	内田三鈴	久本和子	内田和香	森 啓子	山本喜世子	近藤佐智子	丸山小夜子	田中常子	森部五月	奥山清子	川野菊江
							山内梅子	大倉時子	藤本初子	水野光子	川崎靖子
							黒田睦江				川野昭子
											内田ひろみ

例年一月十五日に行なつてます右行事は、境内工事中の為中止いたします。

おすなふみ並に 大護摩供養中止

密教婦人会 (◎会長、△副会長、△会計)